

注3

大学番号：国033

[平成23年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

横浜国立大学教育人間科学部人間文化課程

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 横浜国立大学
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 戦略企画室企画課

職名・氏名

電話番号 045-339-3175

（夜間） 同上

F A X 045-339-3019

e-mail kikaku.chosei@ynu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書」の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

1	調査対象大学等の概要等	P.1
2	授業科目の概要	P.5
3	施設・設備の整備状況, 経費	P.18
4	既設大学等の状況	P.19
5	教員組織の状況	P.22
6	留意事項に対する履行状況等	P.24
7	その他全般的事項	P.25

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人横浜国立大学

(2) 大学名

横浜国立大学

(3) 大学の位置

〒240-8501

神奈川県横浜市保土ヶ谷区79番2号

(神奈川県横浜市保土ヶ谷区79番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長			
学部長			
課程長			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)
平成26年度に報告する内容 → (26)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成23年度開設の4年制の学科の場合(平成26年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育人間科学部 人間文化課程 学士(教養)	年 4	人 150	年次 0人	人 600	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人 150 (-) [若干名]	人 (-)	人 150 (-) [若干名]	人 (-)	人 150 (-) [若干名]	人 (-)	人 150 (-) [若干名]	人 (-)	人 (-)		1.08倍		
志願者数	840 (-) [91]	15 (-) [-]	709 (-) [44]	3 (-) [-]	708 (-) [54]	8 (-) [-]	566 (-) [56]						
受験者数	816 (-) [79]	14 (-) [-]	448 (-) [37]	3 (-) [-]	491 (-) [49]	8 (-) [-]	359 (-) [45]						
合格者数	264 (-) [8]	3 (-) [-]	183 (-) [6]	1 (-) [-]	173 (-) [4]	4 (-) [-]	180 (-) [8]						
B 入学者数	195 (-) [5]	1 (-) [-]	151 (-) [4]	1 (-) [-]	150 (-) [4]	4 (-) [-]	151 (-) [5]						
入学定員超過率 B/A	1.30		1.01		1.02		1.00						

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[5] 195	[-] 1	[4] 151	[-] 1	[5] 150	[] 4	[5] 151	[]		
2年次	/		[5] 194	[-] 1	[4] 149	[-] 1	[5] 148	[] 3		
3年次			/		/		[5] 192	[-] 1	[3] 148	[] 1
4年次							/		/	
計			[5] 196	[9] 347	[14] 497	[18] 644				

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	196 人	4 人	平成23年度	1 人	0 人	他大学受験(1人)	2 %
			平成24年度	2 人	0 人	他大学受験(1人)、その他(1人)	
			平成25年度	1 人	0 人	その他(1人)	
			平成26年度	0 人	0 人		
平成24年度 入学者	152 人	3 人	平成24年度	2 人	0 人	家庭の事情(1人)、他大学受験(1人)	2 %
			平成25年度	1 人	1 人	除籍(1人)	
			平成26年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	154 人	3 人	平成25年度	3 人	0 人	他大学受験(2人)、その他(1人)	1.9 %
			平成26年度	0 人	0 人		
平成26年度 入学者	151 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
合 計	653 人	10 人					1.5 %

(注)・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<教育人間科学部人間文化課程：専門教育科目>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門 教育 科目	必修 基礎 科目	人間文化基礎論ⅠA	1前	2			1	2	2				教育内容を充実させるため教員の変更(25)	
		人間文化基礎論ⅠB	1前後	2			1	4	2	4			教育内容を充実させるため教員の変更(24) 履修登録希望者の状況を鑑み、開講時期を変更(23)	
		人間文化基礎論ⅡA(都市文化論)	1後前	2			2	2					履修登録希望者の状況を鑑み、開講時期を変更(23)	
		人間文化基礎論ⅡB(都市社会の現在)	1後	2			2	2						
		文化リテラシー基礎論	1前後	2					3				履修登録希望者の状況を鑑み、開講時期を変更(26)	
	課程 共通	選択 必修 科目	課程 間連 携共 通科 目群	社会分析基礎論	1~4 2・3・4 前・後	2			2	2				教育内容を鑑み配当年次を変更(25) 履修登録希望者の状況を鑑み、開講時期を変更(24)
				文化マネジメント基礎論	2・3・4後	2			1		1			教育内容を充実させるため教員の変更(24)
				情報基礎論	2・3・4前	2			3			1		25年度開講。教育内容を充実させるため教員の変更(25) 24年度未開講(24)
				映像文化概論	2・3・4前・後	2			1	1				教育内容を充実させるため教員の変更(24) 履修登録希望者の状況を鑑み、開講時期を変更(24)
				音響文化概論	2・3・4後	2			1	1				教育内容を充実させるため教員の変更(24) 履修登録希望者の状況を鑑み、開講学期を決定(24)
				サブカルチャー概論	2・3・4後	2			1	1				教育内容を充実させるため教員の変更(24) 履修登録希望者の状況を鑑み、開講学期を決定(24)
				比較思想概論	2・3・4前	2			1					兼 1 担当教員の退職に伴う変更(25)
				歴史文化概論	2・3・4前	2				1				
				社会学概論	2・3・4前	2			1					
				国際開発支援概論	2・3・4後	2			1	1				採用者変更に伴う教員の変更(24)
				マスコミュニケーション概論	2・3・4前	2				1	1	1		教育内容を充実させるため、担当教員を変更(25) 担当者の退職に伴う変更(24)
				学外活動・学外学習Ⅰ	2・3・4前・後	2			1					教育内容を充実させるため科目を分割(24)
				学外活動・学外学習Ⅱ	2・3・4後	2			1					教育内容を充実させるため科目を新設(24)
				特別支援基礎論	2・3・4前	2			1	1				教育内容を充実させるため担当教員の変更(25)
				近現代日本社会文化論	2・3・4後前	2			1					履修登録希望者の状況を鑑み、開講時期を変更(24)
日本語教育基礎論	2・3・4前	2			1					兼 1 教育内容を充実させるため担当教員の追加(24)				
教育とメディアⅠ	1・2・3・4前	2				1				教育内容を充実させるため科目を新設(24)				
教育とメディアⅡ	未開講 1・2・3・4後	2			1					25年度未開講(25) 教育内容を充実させるため科目を新設(24)				
ノンバーバルコミュニケーション(身体表現論)	2・3・4前	2			1					兼 1 担当専任教員の配置(26) 教育内容を充実させるため科目を新設(24)				

科目区分				授業科目の名称	配当毎次	単位数			専任教員等の配置					備考		
						必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
				世界史概論Ⅲ	2・3・4 後前		2				1	±			履修登録状況を鑑み、開講時期を変更(26) 教育内容を充実させるため担当教員の変更(26) 教育内容を充実させるため科目を新設(24)	
				日本史概論Ⅱ	2・3・4春		2			1						教育内容を充実させるため科目を新設(24)
専門 教育 科目	課程 共通	必修 科目	スタ ジ オ 科目	スタジオⅠ(入門)	1後		2			8	7	1				
				スタジオⅡ(基礎)	2前		2			8	7	1				
				スタジオⅢ(応用)	2後		2			8	7	1				
				スタジオⅣ(創造的実践)	3前		2			8	7	1				
				スタジオⅤ(創造的実践)	3後		2			8	7	1				
	芸術文化 コース	選択 必修 科目			芸術文化論ⅠA(現代アート系)	2・3・4前		2		±	1					教育内容を充実させるため教員の変更(24)
					芸術文化論ⅠB(現代アート系)	2・3・4後		2		±	1					教育内容を充実させるため教員の変更(24)
					芸術文化論ⅠC(映像音響系)	2・3・4前		2			±	1			兼 1	教育内容を充実させるため教員の変更(24)
					芸術文化論ⅠD(文芸批評系)	2・3・4後		2			1					
					芸術文化論ⅡA(文芸批評系)	3・4前		2			1					
					芸術文化論ⅡB(映像音響系)	3・4後		2		1	±					教育内容を充実させるため教員の変更(25)
					現代文化論A(情報文化系)	2・3・4前		2		1						
					現代文化論B(情報文化系)	2・3・4後		2		±	1	±				担当専任教員の配置(25) 担当教員の退職に伴う変更(24)
					現代文化論C(サブカルチャー系)	2・3・4前		2			±				兼 1	
					現代文化論D(サブカルチャー系)	2・3・4後		2			±				兼 1	
					思想と文化ⅠA(現代思想入門)	2・3・4前後		2			±				兼 1	履修登録希望者の状況を鑑み、開講時期を変更(24)
					思想と文化ⅠB(現代思想入門)	2・3・4後		2			±	1			兼±	教育内容を充実させるため教員の変更(26) 教育内容を充実させるため教員の変更(24)
					思想と文化ⅡA(現代思想各論)	3・4前		2		1	±					教育内容を充実させるため教員の変更(25)
					思想と文化ⅡB(現代思想各論)	3・4後		2			1					
					文化マネジメント論Ⅰ	2・3・4前		2							兼 1	担当教員の配置(24)
		文化マネジメント論Ⅱ	3・4後		2		1		±				教育内容を充実させるため教員の変更(25)			
		博物館概論	2・3・4前		2							兼 1	教育内容を充実させるため科目を新設(24)			
		博物館資料論	2・3・4後		2							兼 1	教育内容を充実させるため科目を新設(24)			
		博物館資料保存論	2・3・4前		2				1				担当教員の配置(24)			
		博物館展示論	2・3・4前後		2		±	1					教育内容を充実させるため教員の変更(24) 履修登録希望者の状況を鑑み、開講時期を変更(24)			
		博物館教育論	2,3,4前		2		1						担当専任教員の配置(25) 24年度未開講			
		博物館実習	4		3		1									
社				文化学の技法ⅠA(西洋古典哲学)	2・3・4後		2		±				兼 1	担当教員の退職に伴う変更(25)		
				文化学の技法ⅠB(西洋近代哲学)	2・3・4前		2		1							
				文化学の技法ⅠC(哲学的思考)	2・3・4後		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当毎次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
社会文化コース 選択必修科目	文化学の技法 I D(近代思想)	2・3・4前		2		1	±					昇任による変更(24)
	文化学の技法 II A(古典思想)	3・4前		2			1					
	文化学の技法 II B(近代思想)	3・4後		2		1						
	多元文化論 I A(社会経済史)	2・3・4前		2		1						
	多元文化論 I B(政治文化史)	2・3・4後		2		1	1	1				教育内容を充実させるため教員の追加(26)
	多元文化論 I C(社会文化史)	2・3・4前		2			1					
	多元文化論 II A(社会経済史)	3・4前		2		1						
	多元文化論 II B(政治文化史)	3・4後		2		±	±	1				教育内容を充実させるため教員の変更(26) 教育内容を充実させるため教員の変更(25)
	多元文化論 II C(社会文化史)	3・4後		2								兼 1 担当教員の配置(26) 教育内容を充実させるため科目を新設(24)
	共生社会論 I A(理論社会学)	2・3・4後		2		1						
	共生社会論 I B(文化人類学)	2・3・4後		2			1					
	共生社会論 I C(ジェンダー論)	2・3・4前		2		1						
	共生社会論 I D(社会生活論)	2・3・4後		2		1						
	共生社会論 II A(比較社会学)	3・4後		2			1					
	共生社会論 II B(国際社会学)	3・4前		2			1					
	国際学 I A(国際日本学)	2・3・4前		2		1						
	国際学 I B(政治学)	2・3・4前		2		1	±	1	±			兼 ± 教育内容を充実させるため教員の変更(26) 教育内容を充実させるため教員の追加(25) 教育内容を充実させるため教員の変更(24)
	国際学 I C(経済開発論)	2・3・4後		2		1	±					採用者変更に伴う教員の変更(24)
	国際学 I D(比較文化論)	2・3・4後		2		±		1				教育内容を充実させるため教員の変更(26) 教育内容を充実させるため科目を新設(25)
	国際学 I E(国際文化学)	2・3・4後		2		1						教育内容を充実させるため科目を新設(25)
	国際学 II A(国際日本学)	3・4前		2			1					
	国際学 II B(国際関係論)	3・4前		2			±	1				教育内容を充実させるため教員の変更(25)
	国際学 II C(国際交流史)	2・3・4後		2		1						教育内容を充実させるため科目を新設(25)
	グローバリゼーションと地域社会 I	2・3・4後		2			1					
	グローバリゼーションと地域社会 II	2・3・4後		2			1					
	異文化理解の技法 I A(言語と地域研究)	2・3・4後		2		1						
	異文化理解の技法 I B(言語と地域研究)	2・3・4後		2			1					
	異文化理解の技法 I C(言語と地域研究)	2・3・4後		2								兼 1 担当教員の配置(24)
	異文化理解の技法 II A(言語と地域研究)	3・4前		2			1					
	異文化理解の技法 II B(言語と地域研究)	3・4前		2		1	±					教育内容を充実させるため教員の変更(25)
	社会分析の技法 I A	2・3・4前		2								兼 1 担当教員の配置(24)
	社会分析の技法 I B	2・3・4後		2				2				兼 ± 教育内容を充実させるため教員の変更(26) 担当教員の配置(24)
	社会分析の技法 I C	2・3・4後		2					1			担当教員の配置(24)
社会分析の技法 II A	3・4前		2		1							
社会分析の技法 II B	3・4前		2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	日本語音声学	2・3・4前後		2		1	±					履修登録希望者の状況を鑑み、開講時期を変更(24) 教育内容を充実させるため教員の変更(24)
	言語学基礎講義	2・3・4後前		2		1						履修登録希望者の状況を鑑み、開講時期を変更(24)
関卒業 連業 科研 目究	演習Ⅰ	3前	2			8	7	1				
	演習Ⅱ	3後	2			8	7	1				
	課題演習Ⅰ	4前	2			8	7	1				
	課題演習Ⅱ	4後	2			8	7	1				
	卒業研究	4通	4			8	7	1				

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成26年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
15	71	0	86	15	83	0	98	
				[0]	[12]	[]	[12]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{86} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<教育人間科学部人間文化課程：教養教育科目>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当毎次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目 教養コア科目（基礎科目／人文社会系）	心理学A	1・2・3・4前		2		1						
	心理学B	1・2・3・4前・後		2		1	1	1			兼 1	調査対象外のため変更理由は記載省略
	日本の近代文学	1・2・3・4前後		2		1						
	中国の古典文学	1・2・3・4前後		2		1		1				
	日本の言語	1・2・3・4後前		2			1					
	日本の古典文学	1・2・3・4前		2		1						
	心理学史	1・2・3・4前		2			1					
	日本語を教えよう	1・2・3・4前後		2		1						
	臨床心理学入門	1・2・3・4前		2		1	1					
	子どものこころの発達	1・2・3・4前		2			1					
	教育と法	1・2・3・4前		2		1						
	教育と法	1・2・3・4前		2		1					兼 1	
	Literacy of International Laws	1・2・3・4前		2		1					兼 3	
	地域政策論	1・2・3・4後		2							兼 1	
	教育・心理統計学	1・2・3・4後		2			1					
	地誌学概論	1・2・3・4前後		2			1					
	ヨーロッパ近現代史	1・2・3・4後		2			1					
	ヨーロッパ近現代史	1・2・3・4前		2					1		兼 1	
	日本近現代史	1・2・3・4後		2		1						
	日本前近代史	1・2・3・4前後		2		1	1				兼 1	
	日本前現代史	1・2・3・4前		2					1			
	日本前近代史	1・2・3・4前		2			1					
	戦争文化論	1・2・3・4後		2		1						
	環境と倫理	1・2・3・4前		2			1					
	倫理学	1・2・3・4前		2		1						
	倫理学	1・2・3・4前		2		1						
	哲学と論理	1・2・3・4前		2		1						
	哲学と人間	1・2・3・4前		2		1						
	哲学と人間	1・2・3・4前		2							兼 1	
	合唱	1・2・3・4後		2		1						
	ドイツ語オペラ「魔笛」の世界	1・2・3・4前		2		1						
	イタリア歌曲入門—歌詞をよ	1・2・3・4後		2			1					
	イタリア歌曲入門—歌詞をよ	1・2・3・4後		2		1						
	音楽の基礎	1・2・3・4後		2		1						
	諸民族の音楽と文化	1・2・3・4前後		2							兼 1	
	民族音楽学入門	1・2・3・4前		2			1	1				
	民族音楽学入門	1・2・3・4前		2			1					
	色彩論	1・2・3・4前後		2		1	1					
	水彩画基礎技術(透明水彩)	1・2・3・4後		2		1	1					
	美術の見かた	1・2・3・4前後		2			1					
	映画論	1・2・3・4前		2		1						
	映画論	1・2・3・4後		2							兼 1	
現代芸術論	1・2・3・4後前		2			1						
音楽と自然	1・2・3・4後		2			1						
音楽と自然	1・2・3・4後		2			1						
Advertisement Art #1	1・2・3・4後		2							兼 1		
Advertisement Art #2	1・2・3・4前		2							兼 1		
Studio Workshoop #1	1・2・3・4後		2		1							
Studio Workshoop #2	1・2・3・4前		2		1							
Studio Workshoop #3	1・2・3・4後		2		1							
World Legal Systems	1・2・3・4後		2		2							
Transcultural Under Swtanding through English	1・2・3・4後		2		1							
Arabic language and its Culture	1・2・3・4前		2		1							

科目区分	授業科目の名称	担当毎次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	教養コア科目（基礎科目／人文社会系）	伝統社会と近代社会		2		1						
		伝統社会と近代社会	1・2・3・4前	2		1						
		逸脱行動の社会学	1・2・3・4前後	2		1						
		現代社会論	1・2・3・4後	2		1	1					
		現代社会論	1・2・3・4後	2		1						
		文化人類学の考え方	1・2・3・4前	2			1					
		現代の経済A	1・2・3・4前	2								兼 2
		現代の経済B	1・2・3・4後	2			1					兼 2
		現代政治(国際)	1・2・3・4前後	2			1	1				兼 1
		現代政治(日本)	1・2・3・4後	2								兼 1
		社会科学の方法	1・2・3・4前	2								兼 1
		社会科学の歴史	1・2・3・4後	2								兼 1
		社会科学概論A	1・2・3・4前	2			1					兼 1
		社会科学概論B	1・2・3・4後	2			1					兼 1
		法と人間	1・2・3・4前後	2				1				兼 2
		法学概論	1・2・3・4前後	2					2			兼 1
		日本国憲法	1・2・3・4前後	2			1		1			兼 1
		現代と法	1・2・3・4前後	2			1					
		ハイリソガルへのロードマップ	1・2・3・4前	2			1					
		臨床心理学入門	1・2・3・4前	2				1				
		社会心理学入門	1・2・3・4前	2				1				
		歌の歴史	1・2・3・4前	2			1					
		アカデミック・リテラシー － YNU学びの羅針盤－	1前	2					1			
		日本前近代史	1・2・3・4前	2				1				
		基礎造形A	1・2・3・4後	2				1				
		基礎造形B	1・2・3・4前	2			1					
		障害と周辺領域 I	1・2・3・4前後	2			6	1	1			兼 1
	生涯教育体系としての自然科学	1・2・3・4後	2			1						
	教養コア科目（基礎科目／自然科学系）	自然保護と環境破壊	1・2・3・4後		2			1				
		地球と惑星の科学	1・2・3・4後		2							兼 1
		古生物の科学	1・2・3・4前		2		1					兼 1
		地球システム46億年	1・2・3・4前		2			1				
		生物の社会	1・2・3・4前		2		2					
		生態学入門	1・2・3・4後		2							兼 1
		自然史科学概論A	1・2・3・4前		2			1				
		自然史科学概論B	1・2・3・4後		2			1				
		東京湾の環境科学	1・2・3・4前		2			1				
		相模湾の環境科学	1・2・3・4後		2			1				
		植物の科学	1・2・3・4前		2		1					
		生物学から見たヒト	1・2・3・4前		2		1					
		海洋と地球環境変動の科学	1・2・3・4前		2			1				
		気象学入門	1・2・3・4前後		2			1				
		基礎からの微積分	1・2・3・4前後		2		1					
		解析入門A	1・2・3・4前		2		1					
		解析入門B	1・2・3・4後		2		1					
線形代数A		1・2・3・4前		2		1	1					
線形代数B		1・2・3・4後		2		1	1					
線形代数 I		1・2・3・4後									兼 1	
線形代数 II		1・2・3・4後									兼 1	
物質の世界		1・2・3・4前		2								
現代社会と化学		1・2・3・4前		2		1	1					
統計学 I-A		1・2・3・4前		2		1	1					
統計学 I-A		1・2・3・4後		2		1	1	1				
コンピュータで学ぶ統計学A		1・2・3・4前		2							兼 1	
コンピュータで学ぶ統計学B		1・2・3・4後		2							兼 1	
化学の世界A(物質観としての化学)		1・2・3・4前		2							兼 1	
化学の世界B(生活の化学)	1・2・3・4前		2							兼 1		
化学の世界C(環境の化学)	1・2・3・4後		2							兼 1		
化学の世界D(生命の化学)	1・2・3・4後		2							兼 1		
図形科学	1・2・3・4前後		2							兼 2		
数理科学 I	1・2・3・4前		2		1							
数理科学 II	1・2・3・4後		2		1	2						

科目区分	授業科目の名称	担当毎次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養コア科目 (基礎科目／自然科学系)	体験物理学A	1・2・3・4前		2		1						兼 1
	体験物理学B	1・2・3・4後				1						兼 1
	基礎から学ぶ化学	1・2・3・4前・後		2								兼 1
	物理の世界A	1・2・3・4前		2								兼 1
	物理の世界B	1・2・3・4後		2								兼 1
	エネルギー工学序論	1・2・3・4前		2		± 2	±					
	コンピュータシステムとコミュニケーション	1・2・3・4後		2		2 3 3 2	± 1					
	応用地質学	1・2・3・4後		2		± 1						兼 ±
	先端機器分析入門	1・2・3・4前		2			1					
	ギリシャの数学	1・2・3・4前		2					±			
	基礎からの微積分Ⅰ	1・2・3・4前		2		±						
	基礎からの微積分Ⅱ	1・2・3・4後		2		±						
	微積分の基礎と応用	1・2・3・4前		2			1					
	数学ソフトウェアで学ぶ数学	1・2・3・4後		2		1						
	刃物の科学	1・2・3・4前		2			±					
	名誉教授と学ぶ数理科学そぞろ歩き	1・2・3・4前		2					4			兼 ± 兼 4
	生物学から見たヒト	1・2・3・4後		2		±						兼 1
	群論入門	1・2・3・4後		2		±						
	離散数学入門	1・2・3・4後		2								兼 1
	動力とエネルギー	1・2・3・4前		2		1						
	実験で学ぶ物理学A	1・2・3・4前		2		1						
	実験で学ぶ物理学B	1・2・3・4後		2		1						
	植物の適応と進化	1・2・3・4前		2			±					
	Cyber Studies	1・2・3・4前		2					1			
	Modeling With Statistics	1・2・3・4前		2					1			兼 ±
	Modeling With Calculus and Algebra	1・2・3・4後		2					1			兼 ±
	ICT Literacy	1・2・3・4後		2					1			
	ICT Project	1・2・3・4前		2					1			兼 ±
	モバイルプログラミング	1・2・3・4前後		2								兼 1
	Applicable Computing	1・2・3・4後		2					1			兼 ±
	Webページ作成入門	1・2・3・4後		2				1				
	教養教育科目 (現代科目)	教育学(教育と人間)	1・2・3・4前・後		2		± 2 ± 2	1				
衣生活の科学		1・2・3・4後		2		1	±					
子どもとジェンダー		1・2・3・4後		2		±						
教育実践学		1・2・3・4後		2			±					
老年学-人生90年のマネジメント		1・2・3・4前		2		1						
生涯発達論		1・2・3・4後		2			±					
生涯発達論		1・2・3・4後		2			1					
パインガルへのロードマップ		1・2・3・4前		2		±						
パインガルへのロードマップ		1・2・3・4前		2		1						
脳神経科学入門		1・2・3・4後		2		±						
障害児心理学入門		1・2・3・4後		2		±						
初めての特別支援教育		1・2・3・4前		2		±						
情報と社会		1・2・3・4後		2		1						
職業と教育		1・2・3・4前		2		1						
人と動物の関係学		1・2・3・4前・後		2		1						
障害者支援ボランティア入門		1・2・3・4後		2		±						
特別活動研究		1・2・3・4前		2		1						
学校教育最前線		1・2・3・4前		2		1	1					兼 13
学校教育最前線		1・2・3・4前		2		±						
フラクタル		1・2・3・4前		2								兼 1
フラクタル		1・2・3・4後		2		±						
生活と情報A		1・2・3・4後		2					±			
進路・職業と教育		1・2・3・4前		2		1						
消費社会と共育		1・2・3・4後		2		±						兼 1
居住環境論		1・2・3・4後		2					±			
居住環境論		1・2・3・4後		2			±					
木材と人間		1・2・3・4後		2			1					
有限・離散の数学	1・2・3・4前		2			±						
トポロジー	1・2・3・4後		2		±							
トポロジー	1・2・3・4後		2		±							

科目区分	授業科目の名称	担当毎次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目 教養コア科目（現代科目）	おいしさの科学	1・2・3・4前		2		1						兼 1
	地域連携と都市再生B	1・2・3・4前後		2		1	2	1				兼 1
	現代の物流経営	1・2・3・4後		2		1						
	現代の社会と会計	1・2・3・4前		2		1						
	現代社会と会計	1・2・3・4前		2			1					
	企業・環境・人間	1・2・3・4前		2		1						
	エネルギーと環境	1・2・3・4前		2		1	1					
	安全・環境と社会	1・2・3・4前		2		2	1	1	2		1	
	応用気象学	1・2・3・4後		2								兼 1
	科学技術史	1・2・3・4後		2								兼 1
	海事技術史	1・2・3・4前		2								兼 1
	土木史と技術者倫理	1・2・3・4後		2				1				
	ものの強さと強さのしくみ	1・2・3・4前		2		2						
	材料学入門	1・2・3・4前		2		1						
	生態工学	1・2・3・4前		2								兼 1
	地球環境と情報	1・2・3・4前		2		1						
	建築の環境と防災	1・2・3・4後		2		1	3	1	4			
	地域連携と都市再生A	1・2・3・4、前後		2			1	1				兼 1
	国際理解1(異文化間コミュニケーション論)	1・2・3・4前		2			1					
	国際理解2(日本語教育学概論)	1・2・3・4後		2			1					
	国際理解3(アラブの言語と文化)	1・2・3・4後		2			1					
	国際理解4(台湾の文化と社会)	1・2・3・4後		2			1					
	国際理解5(日米関係史)	1・2・3・4後		2				1				
	国際理解6(国際日本学入門)	1・2・3・4後		2			1					
	国際理解7(英語を媒介語とした日本語の教え方)	1・2・3・4前		2			1					
	国際理解9(日本占領史)	1・2・3・4前		2				1				
	国際理解10(実践アラブ・イスラーム入門)	1・2・3・4後		2			1					
	国際理解11(文化資源のリサイクル)	1・2・3・4前		2			1					
	国際理解12(日本語をめぐる国際交流史)	1・2・3・4後		2			1					
	国際理解13(日本事情1)	1・2・3・4後		2								兼 1
	ドキュメンタリー制作とエスノグラフィ(英語)	1・2・3・4前		2					1			
	日本のポップカルチャー(英語)	1・2・3・4後		2					1			
	英語で学ぶ「入門:世界の法制度」	1・2・3・4前		2								
	英語で学ぶ「歌唱と健康—理論と実践」	1・2・3・4前		2					1			
	英語で学ぶ「国際法入門—歴史的背景を考える」	1・2・3・4後		2								
	英語で学ぶ「歌唱セラピー」	1・2・3・4後		2					1			
	情報ネットワークシステム入門	1・2・3・4後		2			1					
	技術と経営:会社とは	1・2・3・4前		2			1					
	アントレプレナー入門	1・2・3・4前		2			1					
	社会の変化と自己啓発A	1・2・3・4前		2					1			
	社会の変化と自己啓発B	1・2・3・4後		2					1			
	環境リスクとつきあう	1・2・3・4前		2			5	1	4	2	1	
	地域課題実習Ⅰ	1・2・3・4休前		1			4		1	9		
	地域課題実習Ⅱ	1・2・3・4休後		1			4		1	9		
	現代の経営	1・2・3・4前		2			8		3			
英語で学ぶ「グローバル環境・動物法(1)」	1・2・3・4前		2					1				
英語で学ぶ「グローバル環境・動物法(2)」	1・2・3・4後		2					1				
食生活論	1・2・3・4前		2			1						
特別支援教育入門A	1・2・3・4前		2			1						
特別支援教育入門B	1・2・3・4後		2			1						

科目区分	授業科目の名称	担当毎次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目 教養コア科目（現代科目） 教養教育科目 教養コア科目（総合科目）	英語で学ぶ「日本現代史」	1・2・3・4前		2				1				
	英語で学ぶ「演劇、都市、コミュニケーション」	1・2・3・4前		2				1				
	英語で学ぶ「日本映画史入門」	1・2・3・4後		2								
	英語で学ぶ「国際コミュニケーション」	1・2・3・4後		2				1				
	現代教育論	1・2・3・4後		2			1					
	フラクタル	1・2・3・4後		2		1						
	「知識経営」入門	1・2・3・4後		2				1				
	大学生からの社会人基礎力-企業課題を通じた実践的授業	1・2・3・4前		2					1			
	危機管理学	1・2・3・4後		2					1			兼 1
	金融リテラシー入門	1・2・3・4前		2		1						
	学校教育論	1・2・3・4前		2			1					
	学外活動(教育ボランティア)	1・2・3・4前		2		1						
	学外活動(教育ボランティア)	1・2・3・4後		2		1						
	Community Studies	1・2・3・4後		2			1					
	Multicultural Practice	1・2・3・4後		2		1						兼 3
	Management and Facilitation	1・2・3・4後		2		2						
	Multicultural Project #1	1・2・3・4後		2		1						
	Multicultural Project #2	1・2・3・4前		2		1						
	plagiarism and its Regulations	1・2・3・4後		2		2						
	Traditional Perspectives in Japan	1・2・3・4後		2								兼 1
	Aspects of Japanese Society and Culture	1・2・3・4後		2				1				
	キャリアデザインA	1・2・3・4前		2				1				兼 1
	キャリアデザインB	1・2・3・4後		2				1				兼 1
	キャリアデザインC	3・4後		2				1				
	ビジネス・コミュニケーション	1・2・3・4後		2				1				兼 1
	キャリア・ケーススタディ	1・2・3・4後		2				1				兼 1
	Wake up!プロジェクト	1前		2				1				
	実践新商品企画	1・2・3・4後		2		1						兼 1
	学校教育最前線	1・2・3・4前		2			1					
	学校教育最前線	1・2・3・4前		2		1						
	大学とは何か	1・2・3・4後		2			1					
	日本文化の形と伝承の諸相	1・2・3・4後		2		6	1	1				兼 4
	日本の社会と文化	1・2・3・4後		2			1					
	観光と社会	1・2・3・4前		2			1					
	歴史と現在	1・2・3・4前		2		5	4					兼 4
	歴史と現在	1・2・3・4前		2			1					
	数学的思考法	1・2・3・4前		2		3	3					兼 1
	数学的思考法	1・2・3・4後		2								
	サイエンスと現代社会	1・2・3・4後		2		5	6					兼 4
	サイエンスと現代社会	1・2・3・4後		2			1					
	言葉と芸術	1・2・3・4前		2		4	5					
	芸術と社会	1・2・3・4後		2		1						
	<一人前>とは何か	1・2・3・4後		2		5	3					
	21世紀の新しい経済社会	1・2・3・4前		2		4	2					
	経済学のフロンティア	1・2・3・4後		2			1					
	経済学の考え方Ⅰ	1・2・3・4前		2			1					
	経済学の考え方Ⅱ	1・2・3・4後		2			1					
	地球環境への招待	1・2・3・4前		2		7	1					
都市/郊外文化	1・2・3・4前		2			1						
持続的成長のための制度と政策	1・2・3・4前		2		1							
個人と社会の意思決定	1・2・3・4後		2			1						
経営者から学ぶリーダーシップと経営理論	1・2・3・4前		2		1						兼 10	
ベンチャーから学ぶマネジメント	1・2・3・4後		2		1						兼 12	
アカデミック・トークA	1・2・3・4前		2		6 3 1	4 5	1 1	3 1				
アカデミック・トークB	1・2・3・4前前後		2		3 3	1 1	1 1					
アカデミック・トークC	1・2・3・4前後		2		1		1					

科目区分	授業科目の名称	担当毎次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目 教養コア科目（総合科目）	アカデミック・トークD	1・2・3・4前		2		1 2 2 3	1 1						
	教養としての先端物質科学	1・2・3・4前		2									
	物理工学概論	1・2・3・4前		2		4 1 11 3	3 4 9 4				兼 2		
	海洋工学と社会	1・2・3・4後		2		5 5 6	3 4 1 4		1 2		兼 1 兼 3		
	機械工学と社会とのかかわり あ合い	1・2・3・4前		2		1			1		兼 3 兼 1		
	電子情報工学と社会	1・2・3・4後		2			1						
	都市と建築	1・2・3・4後		2		1 2 1 1 2							
	土木工学と社会	1・2・3・4前		2		1 5							
	数理科学概論	1・2・3・4後		2		10 10 11	6 4						
	物質工学と社会	1・2・3・4前		2		5 5 6 5 1 7		2					
	環境をめぐる諸問題	1・2・3・4後		2			6 5 4					兼 2	
	システム・エンジニアリング	1・2・3・4前		2		1							
	横浜学-地域の再発見-	1・2・3・4後		2					1				
	情報通信技術が培う近未来医療	1・2・3・4後		2		1 2 2 1						兼 1	
	ライフキャリアを考える	1・2・3・4後		2								兼 1	
	Collaborative Studies #1	1・2・3・4後		2		2							
	Collaborative Studies #2	1・2・3・4前		2		2							
	Collaborative Studies #3	1・2・3・4後		2		2							
	国民経済とグローバル経済	1・2・3・4前		2		1							
	聴覚文化論の射程	1・2・3・4前		2				1					
	現代経済学の諸問題	1・2・3・4後		2				1					
	スポーツ環境を考える	1・2・3・4後		2		1							
	現代生活と原発・自然エネルギー	1・2・3・4後		2				1					
	暮らしの中の心理学	1・2・3・4後		2		1							
	障害とその周辺領域II	1・2・3・4後		2									
	ことばのあれこれ	1・2・3・4前		2		1							
	Urban Dynamism of Yokohama	1・2・3・4前		2		1	1					兼 3	
	Multicultural Team-works #1	1・2・3・4後		2			1						
	Multicultural Team-works #2	1・2・3・4前		2			1						
	Instruction and Document Design #A1	1・2・3・4後		2		3	1						
	Instruction and Document Design #A4	1・2・3・4前		2		3	1						
	Instruction and Document Design #B1	1・2・3・4後		2		3	1						
	Instruction and Document Design #B4	1・2・3・4後		2		3	1						
	経済学への招待I	1・2・3・4前		2		1							
	経済学への招待II	1・2・3・4後		2			1						
	生活環境の科学への招待	1・2・3・4後		2			1						
	情報科目 シ リ テ ラ	コンピューティング	1前・後		2		2 3	2 3 1	2 1				兼 2
	外国語科目	英語実習1S	1前・後		1				1 7				兼 5
		英語実習1W	1前・後		1		3 3 2 1 3		5 2 6 1 4				兼 5 兼 7
		英語実習1LR前春学期	1前		1		1 3 6		1 2 3				兼 3 兼 4
		英語実習1LR後秋学期	1後		1		2 1 4 4		3 6 1 3				兼 3 兼 4
		英語演習LR	2前		2		1 2		1				

科目区分	授業科目の名称	担当毎次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	英語演習SW	2後		2					1				
	英語演習	2・3・4前・後		2			3 2 4	3 2 5 6	1				
	TOEFL iBTスピーキング対策演習	2・3・4前		2								兼 1	
	英語アカデミックプレゼンテーションスキル演習	2・3・4前		2								兼 1	
	Effective Writing in Journalism A	2・3・4秋		2								兼 1	
	Effective Writing in Journalism B	2・3・4前		2								兼 1	
	Academic Persentation Skills A	2・3・4秋		2								兼 1	
	Academic Persentation Skills B	2・3・4前		2								兼 1	
	ドイツ語実習1	1・2・3・4前・後		1			1 2 1	1	8				兼 8
	ドイツ語実習2	1・2・3・4前・後		1			1 2 1	1	8				兼 8
	ドイツ語実習1(会話)	1・2・3・4前・後		1			1		1				兼 2
	ドイツ語実習2(会話)	1・2・3・4前・後		1			1		1				兼 2
	ドイツ語演習	2・3・4前・後		2			2 1	1 1	2				兼 1
	ドイツ語演習(会話)	2・3・4前・後		2					1				兼 1
	フランス語実習1	1・2・3・4前・後		1			1	2	3				兼 3
	フランス語実習2	1・2・3・4前・後		1			1	2	3				兼 3
	フランス語実習1(会話)	1・2・3・4前		1					1				兼 1
	フランス語実習2(会話)	1・2・3・4後		1					1				兼 1
	フランス語演習	2・3・4前・後		2				1 2	4				兼 3
	フランス語演習(会話)	2・3・4前・後		2					1				兼 1
	中国語実習1	1・2・3・4前		1			1	2 3	1 13				兼 11 兼 12
	中国語実習2	1・2・3・4後		1			1	2 3	1 14				兼 15 兼 12
	中国語演習	2・3・4前・後	2				1 2 1	3 2 2	1 7 1				兼 10 兼 6
	中国語3	4前・後		1				1					
	ロシア語実習1	1・2・3・4前		1			1	1	4				兼 2
	ロシア語実習2	1・2・3・4後		1			1	1	4				兼 3 兼 2
	ロシア語演習	2・3・4前・後		2			1	1	1				兼 1
	朝鮮語実習1	1・2・3・4前		1			1		2				兼 4
	朝鮮語実習2	1・2・3・4後		1			1		2				兼 4
	朝鮮語演習	2・3・4前・後		2			1		1				兼 3
	イスパニア語実習1	1・2・3・4前		1					2				兼 2
	イスパニア語実習2	1・2・3・4後		1					2				兼 2
	イスパニア語演習	2・3・4前・後		2					2				兼 2
	ギリシャ語実習	2・3・4前・後		1					1				兼 1
	ラテン語実習	2・3・4前・後		1					1				兼 1
	スポーツ健康	健康スポーツ演習A	1前・後		2			1					兼 1
		健康スポーツ演習A	1前後		2			3	1				
		健康スポーツ演習B	1・2・3・4前・後		2			6 6 7	2 1 2 9				兼 10
	基礎科目演習	基礎演習	1前		2			18 16 12 6	14 13 7 10	1			
		教職入門	1前		2				1				
	日本事情・日本	日本事情A	1・2・3・4前		2			1					
		日本事情B	1・2・3・4後		2				1 1				
		日本事情C	1・2・3・4後		2			1					
		日本事情D	1・2・3・4前		2				1				
		日本事情E	1・2・3・4前		2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当毎次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	日本語・日本事情科目	日本事情F	1・2・3・4後		2			1					
		日本事情G	1・2・3・4後		2								兼 1
		日本語中級A	1前		1				1				兼 1
		日本語中級B	1前		1		1	1	1				兼 1
		日本語中級C	1前		1		1						兼 1
		日本語中級D	1前		1			1					兼 1
		日本語中級E	1前		1			1	1				兼 1
		日本語中級F	1前		1				1				兼 1
		日本語中級G	1前		1			1					
		日本語上級A	1・2・3・4前前		1		1	1					兼 1
		日本語上級B	1・2・3・4後		1			1					
		日本語上級B	1・2・3・4前		1								兼 1
		日本語上級C	1・2・3・4前前後		1		1						兼 1
		日本語上級D	1・2・3・4前		1			1					
		日本語上級E	1・2・3・4前後		1				1				兼 1
		日本語上級F	1・2・3・4後		1		1						
		日本語上級G	1・2・3・4後		1			1					
		日本語上級H	1・2・3・4前		1				1				兼 1
		日本語上級I	1・2・3・4後		1								兼 1
		日本語上級J	1・2・3・4後		1								兼 1
		日本語上級K	1・2・3・4前		1			1					兼 1
		日本語上級L	1・2・3・4前		1								兼 1
		日本語上級M	1・2・3・4前		1								兼 1
		日本語演習A	1・2・3・4後		2			1					
		日本語演習A	1(後)～4		2			1					兼 1
		日本語演習C	1		2		1						
		日本語演習D	1・2・3・4後		2								
		日本語演習D	1(後)～4		2								兼 1
日本語演習E	1(後)～4		2		1								
日本語演習F	1・2・3・4前後		2			1							
日本語・日本事情1	1(後)～4		2		1								

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成26年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

- (2) 授業科目数
- (3) 未開講科目
- (4) 廃止科目
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」
- (6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

(2)～(6)については、調査対象外のため記載を省略

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用		
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	(補助職員 人)	(補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		(例) 平成26年4月 専任教授1名を新規 採用のため(26)		
		〇〇学部 〇〇学科		(例) 16 -15 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	横浜国立大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開設年度	所在地		
(学部)	年	人	年次人	人		倍				
教育人間科学部										
学校教育課程	4	230	—	920	学士(教育)	1.04	平成10年度	神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79番2号		地球環境, マルチメディア文化, 国際共生社会課程は平成23年度より学生募集停止
人間文化課程	4	150	—	600	学士(教養)	1.08	平成23年度			
地球環境課程	4	—	—	—	学士(教養)	—	平成10年度			
マルチメディア文化課程	4	—	—	—	学士(教養)	—	平成10年度			
国際共生社会課程	4	—	—	—	学士(教養)	—	平成10年度			
経済学部										
経済システム学科	4	115	3年次7	474	学士(経済学)	1.03	平成16年度	神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79番3号		
国際経済学科	4	115	3年次8	476	学士(経済学)	1.07	平成16年度			
経営学部										
経営学科(昼間主)	4	75	—	300	学士(経営学)	1.20	平成3年度	神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79番4号		
経営学科(夜間主)	4	32	—	128	学士(経営学)	1.12	平成3年度			
会計・情報学科	4	70	—	280	学士(経営学)	0.92	平成3年度			
経営システム科学科	4	65	—	260	学士(経営学)	0.93	平成3年度			
国際経営学科	4	65	—	260	学士(経営学)	1.17	平成3年度			
理工学部										
機械工学・材料系学科	4	140	—	560	学士(工学)	1.01	平成23年度	神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79番5号		
化学・生命系学科	4	175	—	700	学士(理学, 工学)	1.06	平成23年度			
建築都市・環境系学科	4	160	—	640	学士(理学, 工学)	1.02	平成23年度			
数物・電子情報系学科	4	270	—	1080	学士(理学, 工学)	1.06	平成23年度			
工学部										
生産工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	昭和60年度	神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79番5号		工学部は平成23年度より学生募集停止
物質工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	昭和60年度			
建設学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	昭和60年度			
電子情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	昭和60年度			
知能物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成10年度			

大学の名称	横浜国立大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
(大学院)									
教育学研究科									
教育実践専攻（修士課程）	2	100	—	200	修士（教育学）	1.12	平成23年度	神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79番2号	学校教育臨床専攻，学校教育専攻，特別支援教育専攻，言語文化系教育専攻，社会系教育専攻，自然系教育専攻，生活システム系教育専攻，健康・スポーツ系教育専攻，芸術系教育専攻は平成23年度より学生募集停止
学校教育臨床専攻（修士課程）	2	—	—	—	修士（教育学）	—	平成13年度		
学校教育専攻（修士課程）	2	—	—	—	修士（教育学）	—	平成13年度		
特別支援教育専攻（修士課程）	2	—	—	—	修士（教育学）	—	平成13年度		
言語文化系教育専攻（修士課程）	2	—	—	—	修士（教育学）	—	平成13年度		
社会系教育専攻（修士課程）	2	—	—	—	修士（教育学）	—	平成13年度		
自然系教育専攻（修士課程）	2	—	—	—	修士（教育学）	—	平成13年度		
生活システム系教育専攻（修士課程）	2	—	—	—	修士（教育学）	—	平成13年度		
健康・スポーツ系教育専攻（修士課程）	2	—	—	—	修士（教育学）	—	平成13年度		
芸術系教育専攻（修士課程）	2	—	—	—	修士（教育学）	—	平成13年度		
国際社会科学府									
経済学専攻（博士課程前期）	2	38	—	76	修士（経済学）	1.02	平成25年度	神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79番4号	
経営学専攻（博士課程前期）	2	50	—	100	修士（経営学）	1.02	平成25年度		
国際経済法学専攻（博士課程前期）	2	25	—	50	修士（法学，国際経済法学，学術）	0.82	平成25年度		
経済学専攻（博士課程後期）	3	10	—	20	博士（経済学，学術）	0.90	平成25年度		
経営学専攻（博士課程後期）	3	12	—	24	博士（経営学，学術）	0.54	平成25年度		
国際経済法学専攻（博士課程後期）	3	8	—	16	博士（法学，国際経済法学，学術）	0.81	平成25年度		
法曹実務専攻（専門職学位課程）	3	40	—	80	法務博士（専門職）	0.60	平成25年度		
国際社会科学府研究科									
経済学専攻（博士課程前期）	2	—	—	—	修士（経済学）	—	平成11年度	神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79番4号	国際社会科学府研究科は平成25年度より学生募集停止
国際経済学専攻（博士課程前期）	2	—	—	—	修士（経済学）	—	平成11年度		
経営学専攻（博士課程前期）	2	—	—	—	修士（経営学）	—	平成11年度		
会計・経営システム専攻（博士課程前期）	2	—	—	—	修士（経営学）	—	平成11年度		
国際関係法専攻（博士課程前期）	2	—	—	—	修士（国際経済法学，学術）	—	平成11年度		
国際開発専攻（博士課程後期）	3	—	—	—	博士（経済学，経営学，国際経済法学，学術）	—	平成11年度		
グローバル経済専攻（博士課程後期）	3	—	—	—	博士（経済学，学術）	—	平成11年度		
企業システム専攻（博士課程後期）	3	—	—	—	博士（経営学，学術）	—	平成11年度		
国際経済法学専攻（博士課程後期）	3	—	—	—	博士（国際経済法学，学術）	—	平成11年度		
法曹実務専攻（専門職学位課程）	3	—	—	—	法務博士（専門職）	—	平成16年度		
工学府									
機能発現工学専攻（博士課程前期）	2	99	—	198	修士（工学，学術）	1.07	平成13年度	神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79番5号	
システム統合工学専攻（博士課程前期）	2	101	—	202	修士（工学，学術）	1.10	平成13年度		
物理情報工学専攻（博士課程前期）	2	122	—	244	修士（工学，学術）	1.13	平成13年度		
機能発現工学専攻（博士課程後期）	3	12	—	36	博士（工学，学術）	0.94	平成13年度		
システム統合工学専攻（博士課程後期）	3	13	—	39	博士（工学，学術）	0.74	平成13年度		
物理情報工学専攻（博士課程後期）	3	16	—	48	博士（工学，学術）	1.02	平成13年度		

大学の名称	横浜国立大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
環境情報学府									
環境生命学専攻（博士課程前期）	2	40	—	80	修士（環境学、工学、学術）	0.95	平成13年度	神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79番7号	
環境システム学専攻（博士課程前期）	2	40	—	80	修士（環境学、工学、学術）	0.99	平成13年度		
情報メディア環境学専攻（博士課程前期）	2	45	—	90	修士（情報学、工学、学術）	1.04	平成13年度		
環境イノベーションマネジメント専攻（博士課程前期）	2	11	—	22	修士（環境学、技術経営、学術）	1.45	平成18年度		
環境リスクマネジメント専攻（博士課程前期）	2	37	—	74	修士（環境学、工学、学術）	0.97	平成18年度		
環境生命学専攻（博士課程後期）	3	12	—	36	博士（環境学、工学、学術）	0.36	平成13年度		
環境システム学専攻（博士課程後期）	3	10	—	30	博士（環境学、工学、学術）	0.57	平成13年度		
情報メディア環境学専攻（博士課程後期）	3	12	—	36	博士（情報学、工学、学術）	0.94	平成13年度		
環境イノベーションマネジメント専攻（博士課程後期）	3	5	—	15	博士（環境学、技術経営、学術）	1.13	平成18年度		
環境リスクマネジメント専攻（博士課程後期）	3	9	—	27	博士（環境学、工学、学術）	1.14	平成18年度		
都市イノベーション学府									
建築都市文化専攻（博士課程前期）	2	68	—	136	修士（工学、学術）	0.97	平成23年度	神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79番5号	
都市地域社会専攻（博士課程前期）	2	37	—	74	修士（工学、学術）	1.06	平成23年度		
都市イノベーション専攻（博士課程後期）	3	12	—	36	博士（工学、学術）	1.25	平成23年度		

（注） ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部、学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

（ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・ 「平均定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
- ・ 大学においては学科単位、大学院においては専攻単位で記入してください。

5 教員組織の状況

<教育人間科学部人間文化課程>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
8	8	0	0	16	10	5	1	0	16		
(7)	(4)	(1)	(0)	(12)	[2]	[△3]	[1]	[0]	[0]	65歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<教育人間科学部人間文化課程>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

--

- (注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)
b 公表時期(未公表の場合は予定時期)	(平成26年7月1日)